

D E & I 強化期間

マイクロアグレッション研修

職員研修名：アンコンシャス・バイアス研修

9/26(金)

13:30-15:30

場所：吹田キャンパス コンベンションセンター1階 会議室

対面
開催

Diversity is a fact;
inclusion is an act.



講演タイトル・概要

なぜ悪意のない言葉が“攻撃”になるのかー マイクロアグレッションと、日常に埋め込まれた差別を考える

私たちが日常で交わす言葉や態度は、時にマジョリティにとっては無意識であっても、マイノリティの人々にとっては痛みや違和感を伴う「攻撃（アグレッション）」となることがあります。悪意のないつもり言葉や、むしろ善意からの行動が、なぜ相手の尊厳を傷つけてしまうのか——。その背景には、社会に深く根付いた不平等や差別の構造があります。

この講演では「マイクロアグレッション」という概念を手がかりに、日常のなにげないコミュニケーションに潜む差別の影響を学びます。そして、相互の信頼を築くために、私たち一人ひとりに何ができるのか、対話のあり方について共に考えます。

2025年度のDE&I研修は、「ダイバーシティは事実（fact）であり、インクルージョンは行動（act）である」をテーマに実施しています。大学がすでに多様な人で構成されていることに改めて気づき、認め、インクルーシブなキャンパスにするために、個人が具体的に何をできるか？を再考する機会となれば幸いです。

👉 お申込み

Formsから
事前質問も受付
締切：9/21（日）



対象者：全構成員（教職員、学生）

使用言語：日本語

新任教員研修プログラム（FD）としても受講できます！

定員120名まで（埋まり次第、申込を終了する可能性があります）

講師

朴 利明

ぱく りみょん



一般財団法人アジア・太平洋人権
情報センター（ヒューライツ大阪）

1984年生まれ。在日朝鮮人3世。高校卒業まで日本名（通名）で生活する。大学在学中に民族差別と闘う在日朝鮮人の学生運動との出会いをきっかけに民族名を名乗るようになる。以来、差別や人権に関心を寄せてきた。特に、ジェンダーやセクシュアリティ、人種などが重なり合うことで起きる差別や排除について学びを深めたい。共訳書に『日常生活に埋め込まれたマイクロアグレッション：人種、ジェンダー、性的指向：マイノリティに向けられる無意識の差別』（明石書店、2020年）。（一財）アジア・太平洋人権センター（愛称：ヒューライツ大阪）研究員。

ヒューライツ大阪
HP →



👉 主催・お問い合わせ

共催：大阪大学 人権問題委員会



大阪大学
ダイバーシティ&インクルージョンセンター
Center for Diversity & Inclusion

D&Iセンター
HP →

